

施策評価調書

1 施策の概要

(1)	施策名	防犯					
(2)	総合計画の体系	第	06	章	安全で魅力的なまちづくり		
		第	01	節	安全なまちづくり		
		第	20	細節	防犯		
(3)	事業費など (単位:千円)	項目\年度(平成)		27年度決算額	28年度決算見込額	29年度予算額	
		事業費(A)		18,565	20,340	31,812	
		従事職員数		1.40 人	2.30 人	1.90 人	
		所要人件費(B)		11,256	18,170	15,304	
		総事業費(A+B)		29,821	38,510	47,116	
		財源内訳	収入	国庫支出金	0	0	0
				府支出金	0	0	0
				その他	49	2,637	45
			市負担	地方債	0	0	0
				その他	0	0	0
一般財源	29,772			35,873	47,071		

2 評価の指標(施策に係る成果指標)

指標項目		項目\年度(平成)	27年度実績	28年度実績	29年度計画
指標内容	各種の防犯対策の満足度	目標値 (単位:点)	60.00	60.00	0.00
		実績値 (単位:点)	54.70	0.00	
目標値の積算方法	吹田市市民意識調査報告書 市民の6割が満足していることを目標値に設定(平成26年度実施)	達成度(%)	91.2	0.0	
		目標値 (単位:%)	70.00	70.00	
指標内容	犯罪少ないなど、治安がよいまちであると感じる市民の割合	実績値 (単位:%)	42.80	0.00	
		達成度(%)	61.2	0.0	
目標値の積算方法	吹田市市民意識調査報告書 市民の7割が肯定意見であることを目標値に設定(平成26年度実施)	目標値 (単位:%)	70.00	70.00	
		実績値 (単位:%)	42.80	0.00	
目標値の積算方法	吹田市市民意識調査報告書 市民の7割が肯定意見であることを目標値に設定(平成26年度実施)	達成度(%)	61.2	0.0	
		目標値 (単位:%)	70.00	70.00	

3 施策の点検(施策を進めるうえでの課題)

安心して過ごすことのできる安全なまちづくりには、市民が自主的に行う防犯活動、市民、事業者、行政が連携して取り組む活動など、さまざまな防犯活動が重要となります。

また、災害時には自主防犯パトロールなどの地道な活動が大変重要な役割を果たします。

平成26年度に実施した市民意識調査では、防犯対策の重要度が78.8点と非常に高い数値となっており、今後も「安心安全の都市(まち)づくり宣言」の掲げる安心して過ごすことのできる安全なまちづくりに向け、継続した取り組みが必要です。

4 施策の評価

次年度の優先順位	施策を構成する事務事業名	室課名	事業番号	市単独事業区分	施策への貢献度	各視点からの評価 (20 → 4) 高 → 低						今後の方向性 (実施計画)
						妥当性	有効性	効率性	公平性	持続可能性	合計	
1	公共施設等防犯カメラ設置事業	危機管理室	01508	全部	大	20	18	18	20	16	92	継続
2	安心安全ドライブレコーダー設置事業	危機管理室	01509	全部	大	20	18	20	20	20	98	継続
3	青パト燃料支援事業	危機管理室	00005	全部	大	20	16	18	18	18	90	継続
4	子ども110番見まもり活動支援事業	まなびの支援課	00934	全部	大	20	18	18	20	18	94	継続
5	吹田市防犯活動補助事業	危機管理室	00006	全部	大	16	20	20	16	18	90	継続
6	地域防犯推進事業	危機管理室	00002	全部	大	18	16	16	18	16	84	継続
7	防犯体制整備事業	危機管理室	00001	全部	大	20	18	18	20	20	96	継続
8											0	
9											0	
10											0	
11											0	
12											0	
13											0	
14											0	
優先順位をつけるにあたっての考え方		市全体の防犯環境の底上げの必要性から平成28年度からの新規事業(防犯カメラとドライブレコーダーの設置)を上位に位置づけ、続いて地域の防犯ボランティアの結成や継続した活動の支援等地域の防犯活動の活性化が市全体の防犯力の向上に資することから地域防犯推進に資するような事業から優先順位をつけた。										